

5位「母親を重んじよう」

アセコワ・アルトゥナイ

アラバエフ名称キルギス国立大学付属日本学院 3年



お母さん。この言葉を聞くと、多くの人が「お母さん」がとても綺麗な人だと言うでしょう。母親の存在そのものが幸せです。お母さんが子どもを生んでいつも気遣いしてくれます。何か起こったばあいは、私たちのお母さんが最初に走りきて、助けるために可能な限りのことをします。何も人生の複雑さは母親の愛を変更しません。

しかし半年前に私は違う考えでした。これは検疫の時に発生しました。私はどこにも行かないで家族と家にいました。それは私にとって非常に悪い影響を与えました。母は私をまったく理解しようとしなかったのは私にとって大変になりました。毎日母と豪快や喧嘩がありました。それから一人でいるときになぜ母は私を理解しようとしなかったと思考えました。そのため私も母の言うこともやりたくありませんでした。そして、数週間が経ち、私たちの関係はだんだんもっと悪くなりました。

しかしある日、母は私を呼んで絵を見せてくれました。母は絵を持って何か話を始めましたが、私は母の手だけを見ていました。母の手は皺がよっていて黒い斑点で覆われていたのを私は見つけました。母の話が終わったとき、私は自分の部屋に入って、そして母がどのように年を取っているのか、母にとってどのように困難だったのか、そして私が母を失う可能性があるという事実について考えました。このすべてを想像して、私は母を理解しようとしているのか、母を動揺させないようにしているのかを考えました。次の日に私は母を喜ばせようと初めて家のことで手伝いました。母と話し始めて、母の言うとおりにしました。そしてこの話で私は多くのことを理解しました。お母さんをどう扱ってもちゃんと親切な言葉を言わなかったと後悔するでしょう。またどんな誤解が起こっても母親の愛は変わらないことに気づきました。お母さんを見て抱きしめるだけでお母さんの愛を感じることができます。

みなさん、私は様々な否定的な考えで人生を複雑にする必要はないことをみなさんに伝えたいと思います。母親のために何ができるかをよく考えた方がいいです。私たちがお母さんたちの期待に応え、私たちが彼らと同じように彼らの世話をすることを期待して私たちを育てました。あなたの子供にあなたを扱って欲しい方法であなたの親を尊重してください。